

町田市議会 9 月定例議会で可決された附帯決議を尊重し、
(仮称)国際工芸美術館整備工事の参加要件の見直しを求める 請願

町田市議会は町田市民の代表です。町田市議会 9 月定例議会 68 号議案に対する附帯決議が提出され議長採決で可決されました。

その中で「計画スケジュールありきで予算計上することに疑義があるが、せめて事業者選定においては市内事業者が参加できる工夫をする必要がある。」との意見のもと「(仮称) 国際工芸美術館整備事業について、本体工事に市内事業者が下請けでなく JV 等のあり方等含め参画できる状況での入札・契約業務を行うこと」を求めています。

市議会での附帯決議は市の方針決定プロセスにおいて極めて重いものです。この度、国際工芸美術館工事入札が公開されましたが、その内容は「市外業者も単独で参加でき、市内事業者が下請けでしか参加できない」恐れもある内容です。この参加要件は 9 月定例議会での附帯決議が考慮されておらず、議会軽視と言わざるを得ません。

また、68 号議案に対する附帯決議のなかに「スターツ CAM 株式会社との仮契約解除の要因について明らかにし、予算の正当性を明確にすること」を求めています。

2025 年 11 月 22 日の読売新聞の記事には、スターツ CAM 株式会社は「近隣住民の反対を理由として、現状のままでは工事請負契約を締結できない」と掲載されています。「近隣住民の反対」を克服し、市内事業者が参入しやすい環境にするには、工事金額や工期の見直しが必要です。

現状の状態のまま入札を行っても同じ理由で工事契約がされないことも考えられます。公共工事は本来、施工会社が無理なく工事を請け負うことができる金額、工期が設定されるべきです。

9 月議会での附帯決議で明記されている「予算の正当性を明確にすること」という意見に対し、市側は入札前に正当性を提示されておらず、9 月定例議会での付帯意見に不誠実な対応であると考えます。

よって町田市議会 9 月定例議会で可決された付帯決議を最大限尊重し、誠実な対応を求め請願致します。

【請願項目】

- 1 町田市議会 9 月定例議会で可決された附帯決議を尊重し、現在進めている（仮称）国際工芸美術館工事入札を一旦延期し、入札の参加要件の見直しを求める。
- 2 町田市議会 9 月定例議会で可決された附帯決議を尊重し、スターツ CAM 株式会社との仮契約解除の要因を早急に明らかにし、予算の正当性を明確にすることを求める。